

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

**超高感度多目的カメラ“ML-105 EF/ML-100 M58”を発売
ラインアップの拡充により目的に合わせた多様なシステム構築が可能**

キヤノンは、独自開発の超高感度 CMOS センサーにより、最低被写体照度 0.0005lux（ルクス）※1（最大ゲイン 75dB 時、ISO 感度 400 万相当）を実現した超高感度多目的カメラの新製品 2 機種を 2020 年 12 月中旬より順次発売します。



ML-105 EF



ML-100 M58

新製品は、豊富なラインアップを誇るキヤノンの EF レンズ※2 を使用できる EF マウント採用の“ML-105 EF”、多様なレンズやアクセサリの組み合わせが可能な M58 マウント採用の“ML-100 M58”の計 2 機種です。従来機種「ME20F-SH」（2015 年 12 月発売）の基本性能を継承しながら、小型設計と各種規格に相当する耐環境性能を両立し、特殊監視から研究・調査まで幅広い用途で、これまでは映し出すことが難しかった映像の撮影が可能です。

■ 暗闇でのカラー動画撮影を可能にする超高感度 CMOS センサー

画素部や読み出し回路に独自技術を搭載した 35mm フルサイズ CMOS センサーにより、最低被写体照度 0.0005lux（最大ゲイン 75dB 時、ISO 感度 400 万相当）の超高感度と低ノイズを両立し、星明かりなど非常にわずかな光の環境下でもカラー撮影ができます。

■ 従来機種比で体積約 50%以下の小型設計と各種規格に相当する耐環境性能

さまざまなシステム機器へ組み込みやすいボックスデザインの採用や、インターフェースの見直しにより、従来機種に比べて体積約 50%以下の小型設計※3 を実現しています。また、米国国防総省が定める物資調達規格「MIL-STD-810G」の 4 項目※4 に相当する耐久性、国際電気標準会議が定める水や異物侵入の保護等級の規格「IP54※5」相当の防じん・防滴性能など高い耐環境性能を備えています。

■ 用途に応じて選べる 2 つの映像出力インターフェース

産業用高速デジタルインターフェース規格「CoaXPress」に対応する“ML-100 M58”に加え、外部レコーダーやモニターへの出力を可能にする 3G/HD-SDI 端子を搭載した“ML-105 EF”を用意し、ユーザーの柔軟なシステム設計のニーズに応えます。

製品名	希望小売価格	発売日
ML-100 M58	オープン価格	2020 年 12 月中旬
ML-105 EF		2021 年 4 月中旬

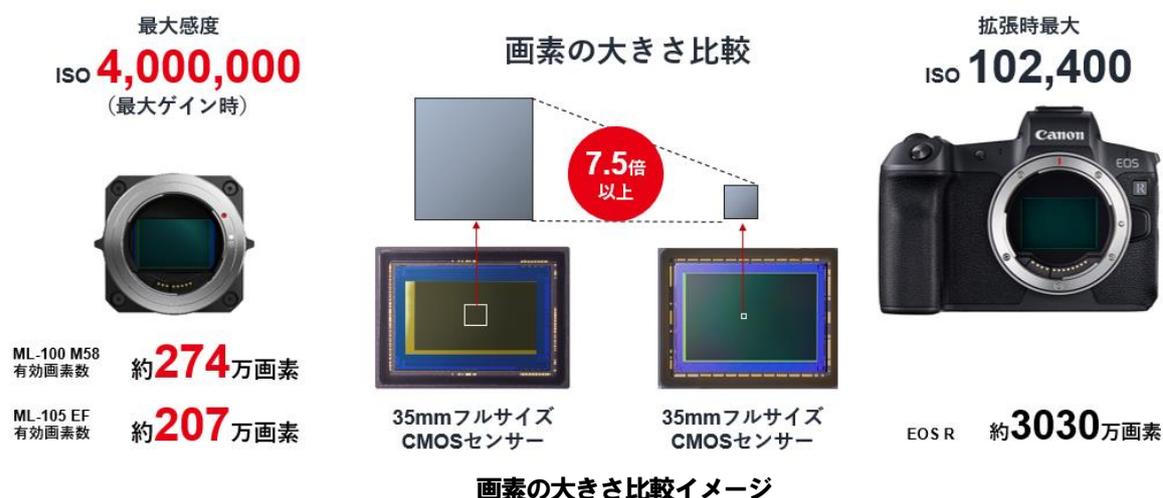
※1 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）発行の「映像監視システム機器スペック規定方法」（TTR-4602C）に準拠（最大ゲイン、F1.2、シャッタースピード 1/30 秒、IRE50 の条件下で撮影した場合の理論値）。
 ※2 EF レンズのうち、RF レンズ、EF-M レンズ、EF-S レンズを除く。
 ※3 従来機種「ME20F-SH」は、突起部を除き、約 102mm（幅）×約 116mm（高さ）×約 113mm（奥行き）。“ML-105 EF”は、突起部を除き、約 76mm（幅）×約 76mm（高さ）、約 112mm（奥行き）と、体積比 51.6%減の小型化。“ML-100 M58”は、突起部を除き、約 76mm（幅）×約 76mm（高さ）、約 83mm（奥行き）と、体積比 64.1%減の小型化。
 ※4 高温動作・保管（Method 501.6-High Temperature）、低温動作・保管（Method 502.6-Low Temperature）、振動（Method 514.7-Vibration）、衝撃・落下（Method 516.7-Shock）。当社試験条件で測定。
 ※5 「IP54」の「5」は「粉塵が内部に侵入しても正常な動作を阻害しない」レベルを、「4」は「水の飛沫に対する保護」レベルを指す。当社試験条件で測定。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03-6719-9758 (直通)
 イメージングソリューション企画課
 ● 多目的カメラホームページ : canon.jp/multipurpose

<ML-105 EF/ML-100 M58 の主な特長>

1. 暗闇でのカラー動画撮影を可能にする超高感度 CMOS センサー

- ・一辺約 19 μ m (マイクロメートル) の大きな画素を持ち、画素部および読み出し回路に独自技術を搭載した 35mm フルサイズ CMOS センサーにより、超高感度と低ノイズを両立。
- ・最低被写体照度 0.0005lux (最大ゲイン 75dB 時、ISO 感度 400 万相当) を実現。
- ・1 秒以上、1/2000 秒以下のシャッタースピード設定が可能な長時間/短時間露光に新たに対応。例えば長時間露光では光を多く蓄積でき、より明るい画が撮れるなど、ユーザーの使用環境に合わせて撮影領域を拡大。
- ・“ML-100 M58” は、有効画素数約 274 万画素の 35mm フルサイズ CMOS センサーを搭載。従来機種に比べ、解像力を向上。RAW 出力を採用し、システム設計者側で自由に画像処理ができるため、開発目的に合わせた柔軟なシステム設計が可能。
- ・“ML-105 EF” は、有効画素数約 207 万画素の 35mm フルサイズ CMOS センサーと映像処理プラットフォーム「DIGIC DV4」を搭載。



2. 従来機種比で体積約 50%以下の小型設計と各種規格に相当する耐環境性能

- ・さまざまなシステム機器へ組み込みやすいボックスデザインを採用。インターフェースの見直しにより、従来機種に比べて体積約 50%以下の小型設計を実現。
- ・米国国防総省が定める物資調達規格「MIL-STD-810G」の 4 項目に相当する耐久性を実現。
- ・米国国防総省が定める物資調達規格「MIL-STD-461」に相当する電気互換試験を実施し、電磁妨害波に対する高い耐性を実現。
- ・国際電気標準会議が定める水や異物侵入の保護等級の規格「IP54」相当の防じん・防滴性能を達成。粉じんが内部に侵入しにくく、侵入しても正常運転を阻害しない「防じん性能 5 級」、あらゆる方向からの飛沫でも有害な影響を及ぼさない「防滴性能 4 級」に相当。
- ・マウントベース、前後カバー及び上下左右 4 面パネル全てにアルミ合金を採用。耐衝撃性に優れたボディーを実現。



採用するアルミ合金製ボディー

3. 用途に応じて選べる 2 つの映像出力インターフェース

- ・ “ML-100 M58” は、産業用高速デジタルインターフェース規格「CoaXPress」に対応。
- ・ “ML-105 EF” は、従来機種「ME20F-SH」と同様のインターフェースである 3G/HD-SDI 端子を搭載し、映像を圧縮せずに配信する 3G/HD-SDI 出力により、高画質な映像出力が可能。
- ・ 「EF マウント」と「M58 マウント」の 2 つのレンズマウントを用意し、環境に応じた柔軟なシステム設計が可能。



ML-100 M58
(背面)



ML-105 EF
(背面)



用意する 2 つのレンズマウント
(左：M58 マウント、右：EF マウント)

<高感度多目的カメラの市場動向>

監視カメラ市場が拡大する中、ニーズの多様化が進み、災害地域や空港・港湾・河川などの現場で昼夜問わず 24 時間映像データを取得したいという需要が増えています。夜間でもカラーで撮影できる高感度性能、ドローンに搭載可能な小型・軽量設計、厳しい環境下でも撮影ができる耐環境性能を兼ね備えたカメラへの関心が高まっています。(キヤノン調べ)

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。